



# 気高SGH通信

平成28年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

No. 39 令和2年12月25日

海を素材とするグローバルリテラシー育成

～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

宮城県気仙沼高等学校

## 1学年フィールドワーク②



12月12日(土)に、地域社会研究において2回目のフィールドワークを行いました。

宮城大学、東北工業大学、宮城教育大学を訪問した班は、対面で教授に質問したり、実際に実験をさせてもらったりしました。市内の企業等を訪問した班は、飲食店からレシピのアイデアを頂いたり、気仙沼の医療現場の現状をお話しいただいたりしました。

また今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、大学とのフィールドワークは一部オンラインで12日(土)、16日(水)、23日(水)の計3回実施しました。例年訪問できていなかった遠く離れた東京海洋大学の先生とも繋がりにアドバイスを頂けたのはオンラインだからこそではないでしょうか。対面でお話ししているように質問に答えて頂き、今後の研究に活かせるヒントを沢山得たようです。今後は1月30日にある最終発表に向けて研究をさらに進めていきます。

## 全国高校生フォーラム

12月20日(日)に「全国高校生フォーラム」が開催され、参加した及川澄恵さんが、オンライン上で「How to increase the number of people working on picking up garbage」というテーマで研究発表し、及川里菜さんと齋藤花音さんが「自然環境と生活: どうしたら持続可能な開発が可能か?」をテーマにしたディスカッションに参加しました。例年とは異なりオンラインでの開催でしたが、英語で学校の特色についての紹介や国際的な視点での課題について熱い議論を交わし、全国の高校生と交流を深めることができました。



## 気仙沼のマイプロ発表会

12月20日(日)、PIER7にて、気仙沼の高校生「マイプロジェクトアワード2020」最終発表会が開催され、気仙沼高校からは12組、14名の生徒が参加しました。発表会では、岸佑衣子さんが「在宅で看取りやすい社会を創るには」で最高賞の「市長賞」を、伊藤ひなたさんが「子どもの自尊心をupしたい!」で「共感賞」を受賞しました。

